

第2節 環境学習

1 概要

近年、環境問題は私たちの身近な日常生活に根ざした問題から地球規模の環境問題まで幅広く、複雑多様化してきている。

これらの問題に対処し住みよい環境を推進していくためには、市民、企業、市民団体、学校、および行政などの多様な主体一人ひとりが、環境との関係について深く理解し、環境に配慮した生活、行動ができる人の育成が大切である。

環境学習とは、毎日の生活や行動が環境に及ぼす影響を理解し、責任ある行動がとれる人の育成を目指す生涯学習であり、学習自体を目的とするのではなく、住みよい快適な環境づくりを目指すための一つ的手段として展開するものである。

2 環境フェア

広く市民等への環境保全に関する啓発を行うことを目的として開催される。

平成26年度の「環境フェア」の概要は次のとおりである。

事業名	●さばえ環境フェア2014 「ストップ・ザ・地球温暖化 in さばえ」 聞いてみよう魚からのメッセージ
開催日	●平成26年6月28日（土）
場 所	●嚮陽会館
主 催	●鯖江市、鯖江市環境まちづくり委員会環の国さばえ環境フェア実行委員会
主 管	●鯖江市環境教育支援センター 指定管理者(特)エコプラザさばえ
後 援	●鯖江市教育委員会、鯖江市広域衛生施設組合、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送局、福井テレビ、FM福井、丹南ケーブルテレビ、たんなん夢レディオ
主な内容	●環境講演会（「さかなクンのギョッとびっくりおさかな教室」 講師：さかな君（東京海洋大学客員教授））、環境まちづくり大賞表彰・活動発表、リユースプラレールランド、間伐材つきき広場、環境販売コーナー、環境関連の展示・体験コーナー他

3 環境体験学習講座

平成17年度より、当センターの自主事業として開始した。

様々な体験を通じて環境への取り組みを身近に感じてもらうことを目的として、一般の市民の方々や子どもたちを対象に木工体験やキノコの菌打ち体験などの内容で28回開催し、述べ1,047名の参加があった。

また、市内小中学校を対象とした小学校区単位の環境体験学習講座では、各校ごとの学習要望に基づき、リサイクル施設の見学による3Rや資源循環の学習や、新聞でバックやえんぴつづくり、地球温暖化防止教室などの内容で71回開催し、

4,574名の参加があった。

4 企業と市民の地球環境大作戦

平成17年度より、企業と市民が協働で地球環境保全のための活動を行うことを目的に、市民による環境にやさしい企業への訪問や市民と企業の従業員による、温暖化防止のための森づくりを協働で実施した。

① 「実のなる公園植樹祭」

- 開催日 ●平成26年10月5日（日）
- 内容 ●市民親子参加による植樹祭を開催し、1500本植樹
- 参加者 ●100名

5 親子リサイクルバスツアー

平成17年度より、地球環境保全について親子で考え、家庭からできる地球環境保全実践活動の契機づくりを目的に実施した。

- 事業名 ●「親子リサイクルバスツアー」
- 開催日 ●平成26年7月23（水）・25日（金）
- 内容 ●エフピコ中部リサイクル工場をツアー先とし、資源の再生される過程を見学し、廃棄物分別の意義と3Rの推進に理解を深めた。
- 参加者 ●96名

6 環境リーダー養成講座

環境養育指導の手法を学び、環境に関するスキルアップに資する講座を開催し、地域における環境リーダーを養成する目的で講座を開催。

- 事業名 ●①「ワールドシフト講座」
- 開催日 ●平成27年3月22日（日）
- 講師 ●谷崎テトラ氏
- 内容 ●<第1部>ワールドシフト講座(1)
持続可能な文明への転換～2050年への道
<第2部>ワールドシフト講座(2)
コミュニティー再生の事例紹介
<第3部>ワールドシフトワークショップ
- 参加者 ●26名

- 事業名 ●②「3R・低炭素社会検定講座」
- 開催日 ●（3R分野）平成26年11月29日（土）9:30～12:30
（低炭素社会分野）平成26年11月29日（土）13:30～16:30
- 参加者 ●各10名

- 事業名 ●③「3R・低炭素社会検定試験」
- 開催日 ●平成27年1月11日（日）11:00～16:00
- 参加者 ●6名

7 ダンボールコンポスト普及事業

循環型社会を構築するため、家庭から出た生ごみを自分たちでたい肥化し、ごみの減量化を図るダンボールコンポストの普及説明会を行った。平成26年度は、導入講座を24回（参加者 342名）、アフター講座を7回（参加者 31名）実施した。

8 サケ稚魚放流体験学習会

小学校・幼稚園・保育所(園)児童により、姉妹都市である村上市より仕入れたサケの卵 30,000 個から稚魚を育て、育った稚魚を立待地区石田橋上流にて日野川に放流した。

「日野川からサケの旅立ち」と銘うった放流会では、350名以上の親子参加のもと、「サケの一生」と題した紙芝居で、サケが戻る習性を学習し、きれいな河川を守っていくことの重要性を理解し、数年後の帰還を願った。

9 環境アドバイザー派遣制度

平成13年8月から、市民・民間団体・事業者・学校等が環境保全についての研修会や学習会を開催する際に、環境の専門的な知識や技術を持った環境アドバイザーを講師として派遣している。

平成27年3月現在、33名が環境アドバイザーとして登録されており、平成26年度は、市民や地域団体からの要請を受け、延べ10名のアドバイザーを派遣し、319名が受講した。

10 こどもエコクラブ

次の世代を担う子ども達が、地域の中で仲間と一緒に地域環境・地球環境に関する学習や具体的な活動に取り組むため、平成7年度から「こどもエコクラブ」が全国各地に環境省の支援のもと自主的に設立された。毎年度小中学生を対象に募集を行い、活動を支援する保護者・先生と協力し、21世紀を担う子ども達が将来にわたり環境を大切にする意識を育むことを支援している。

エコクラブの会員になると、1年に4回、こどもエコクラブ全国事務局から、全国の活動や環境についての情報や、各イベントのお知らせ等が記されているニュースレターが送られてくる。各ニュースレターの中の簡単な課題を修了すると、アースレンジャーに認定される。

平成26年度のこどもエコクラブ登録団体は25クラブが結成され、997名の子どもたちが活動を行った。

子どもたちの環境学習及び環境保全に関する活動内容などを発表する『こどもエコクラブ活動交流会』を、市とこどもエコクラブ活動交流会実行委員会の主催、および惜陰小学校5年生 62名による「EM菌で環境浄化大作戦」の活動発表後、交流会が行われ、ネイチャークラフト、クイズラリーなどを通じて多くの児童や保護者、教職員が交流を行った。活動交流会の概要は次のとおりである。

開催日	●平成27年2月7日(土)
場 所	●鯖江市嚮陽会館
内 容	●ステージ発表、ネイチャークラフト、クラフトテープでバックづくり、のっこさんの紙芝居・エコかるた隊大会、つみき広場間伐材で遊ぼう、ペットボトルで万華鏡づくり、いなわら体験、鯖江の野鳥、間伐材とカンナを使ってはしづくり、牛乳パックではがきづくり、エコウッド&ストーンペイント、パネル展示クイズラリー等
総出席者数	●700名

表 3-2-13-1 平成 26 年度 こどもエコクラブ登録名簿 平成 27 年 3 月現在

こどもエコクラブ登録名簿

No.	クラブ名	学校・団体	クラブ員数	学年
1	知ろう 作ろう 活用しよう EM 研究隊 A チーム	惜陰小学校	16	
2	知ろう 作ろう 活用しよう EM 研究隊 B チーム	惜陰小学校	16	
3	知ろう 作ろう 活用しよう EM 研究隊 C チーム	惜陰小学校	16	
4	知ろう 作ろう 活用しよう EM 研究隊 D チーム	惜陰小学校	15	
5	みどり委員会	惜陰小学校	20	
6	しぜんいっぱい、大好き かわだ！クラブ	河和田小学校	31	3 年
7	河和田のまちのいいところ！クラブ	河和田小学校	33	4 年
8	環境戦隊！かわだホタルレンジャー クラブ	河和田小学校	10	5・6 年有志
9	野鳥クラブ	河和田小学校	10	
10	イースト 4 東	鯖江東小学校	30	4 年
11	イースト 4 西	鯖江東小学校	27	4 年
12	鯖江のすてきなもの見つけ隊	中河小学校	30	3 年
13	中河かん境守り隊	中河小学校	41	4 年
14	とばっ子エコクラブ 1・2 年	鳥羽小学校	140	1・2 年
15	とばっ子エコクラブ 3・4・5 年	鳥羽小学校	230	3・4・5 年
16	とばっ子エコクラブ ECO	鳥羽小学校	30	
17	とばっ子エコクラブ MIDORI	鳥羽小学校	30	
18	生きもの食べ物大好き隊	立待小学校	94	
19	地球環境 お助け隊	北中山小学校	28	4 年
20	北中山環境隊	北中山小学校	32	5 年
21	エコキッズ吉川 1	吉川小学校	22	4 年
22	エコキッズ吉川 2	吉川小学校	22	4 年
23	エコキッズ吉川 3	吉川小学校	22	4 年
24	エコキッズ吉川 4	吉川小学校	22	4 年
25	神明環境隊	神明小学校	30	
	合 計	25	997	